

A T A C セミナー 2 0 0 9 札幌 のご案内

主催：NPO 法人 e-AT 利用促進協会，A T A C

A T A C セミナーは障害のある人のコミュニケーションや学習を支援する手段を分かりやすく学べるセミナーです。発達障害の人や知的障害，肢体不自由など障害を越えて今すぐに活用できる技術を実習も交えながら皆さんにお伝えします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時：2009年7月18日（土），19日（日） 10:15 - 17:00（受付開始 9:30）

場 所：アスティホール 4 F

（地下鉄南北線札幌駅より徒歩3分，JR 札幌駅西改札口より徒歩5分，次ページに地図掲載）

〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル

<http://www.conventionsapporo.jp/j/meeting/facilities/data/asty.html>

参加費：1日7,000円（2日通しての参加の場合は10,000円）

定 員：30名（事前登録制）

申し込み方法：メールあるいはFaxにて住所，氏名，連絡先（電話およびメールアドレス），参加日をお知らせ下さい。折り返し確認のご連絡を差し上げます。参加費は当日お支払い下さい。

なお，本セミナーは，日本福祉大学のスクーリング科目「福祉とテクノロジー活用」と合同で開催されるものです。

申し込み・問い合わせ先：A T A C（エイタック）カンファレンス事務局

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-4-14-402 NPO 法人 e-AT 利用促進協会 内

Tel：080-1032-1705（セミナー当日のご連絡もこちらまでお願い致します）/ Fax：050-3488-4964

e-mail：atac2009@e-at.org URL：http://www.e-at.org/atac

*今年のA T A Cは以下の場所でも開催されます。詳細につきましては近日中にご案内いたします。

福岡，東京のセミナーの参加費とプログラムはA T A C セミナー 2 0 0 9 札幌と同じです。

A T A C セミナー 2 0 0 9 福岡 9月19日（土），20日（日）：定員50名

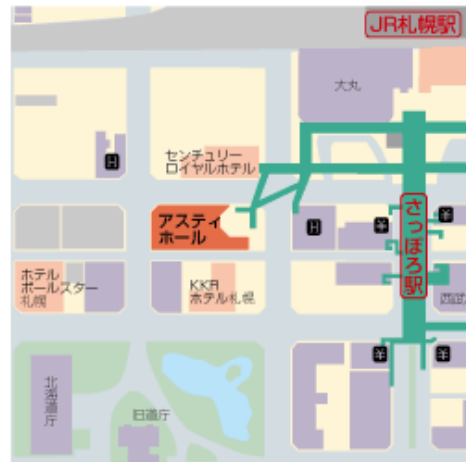
A T A C セミナー 2 0 0 9 東京 10月10日（土），11日（日）：定員100名

A T A C カンファレンス 2 0 0 9 京都 12月4日（金），5日（土），6日（日）

A T A C セミナーが入門的内容だとするとA T A C カンファレンスは少し専門的内容になります。今年のテーマは「リアリティ」。障害や生きることの困難さについてリアリティをもって支援するための知識を少し深く専門的に学んで下さい。機器の貸し出しを受けられるセミナー，リビングライブラリー，ナイトセッションなど新しい企画が始まります。どうぞご期待下さい！

会場：アスティホール 4F

住所：060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目
アスティ45ビル
電話：011-205-5630
交通：【地下鉄】地下鉄南北線札幌駅より徒歩3分
【JR】JR札幌駅西改札口より徒歩5分
駐車場：有(時間貸85台)1時間340円



プログラム：

1日目：7月18日(土) 9:30 - 受付

10:15 - 12:30 **障害とは何か？(障害・コミュニケーション・テクノロジー)**

(中邑賢龍・東京大学/大島友子・マイクロソフト)

テクノロジーやコミュニケーション技法の導入は障害のある人の能力を確実に高めています。ハイテク社会になりながらも障害をそれで補うことに疑問を感じる人も多いようです。しかし、誰もが抱える困難という視点で障害をとらえると新しい支援の方向性がみえてきます。

13:30 - 14:00 **日常生活を豊かにするコミュニケーションの技法**

(中邑賢龍・東京大学)

普段出来ていると感じているコミュニケーションがいかに不十分なものかを実習を通じて確認すると同時に、簡単な工夫でコミュニケーションが豊かになることを体験してもらいます。

14:15 - 17:00 **障害の重い人とのコミュニケーションの技法** (中邑賢龍・東京大学)

重い知的障害のある人とのコミュニケーションを言葉で行うのは限界があります。言葉に寄らずとも彼らの意思を最大限に引き出すコミュニケーションを、実習を交えながら理解してもらいます。

2日目：7月19日(日) 9:30 - 受付

10:15 - 12:30 **テクノ社会と福祉・教育** (中邑賢龍・東京大学/近藤武夫)

インターネット利用が当たり前になってきた社会の中でこれからの福祉や特別支援教育はどのように変わのでしょうか？ここでは未来の福祉や教育を考えてみます。

13:30 - 14:30 **携帯電話やパソコンなど身近なテクノロジーを活用する**

(近藤武夫・東京大学)

皆さんの使っているケータイなどのIT製品の中には障害のある人に便利な機能がたくさん含まれています。明日から活用できる機能を紹介していきます。

14:45 - 15:45 **Windows やアプリケーションの秘密** (近藤武夫・東京大学)

四肢麻痺があってもパソコンショップで買って来たパソコンがそのまま利用できるのをご存知ですか？マウスなしでパソコンなしでパソコンが使えるのをご存知ですか？そんな秘密を紹介します。

*Windowsパソコンを持参していただくことでより機能を理解していただけたらと思います。ただし電源はありませんのであらかじめバッテリーを充電してお越し下さい。

16:00 - 17:00 **学習や就労を支援するテクノロジー** (近藤武夫・東京大学)

学習や就労場面でテクノロジーを活用しながら生活する人たちを紹介しながらテクノロジー活用の仕方を考えていきます。